

在職記入者 21名 平均勤続年数 8.6年

☆ 今年度の本園教育活動における評価。

< 5 大変良い 4 良い 3 普通 2 不十分 1 悪い >

No	項目	評価	評価の補足・反省・今後に向けて等（記述）
1	日頃より、本園の教育目標を唱え、意識を持って、教育活動に取り組めたか。	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時、教育目標を唱える様にし、毎日取り組む事が出来た。又、『3つの目標』を軸にし、意識しながら、日々の活動を取り組んだ。 ・教育目標に沿って、日頃の保育が出来る様、努めた。 ・今年度は、出勤時に職員室で「教育目標」を声に出して唱える事が習慣化した。 ・他の教職員の唱える声も耳にすることで、より、意識して、日々の取り組みで実践した。その成果が、学年の園児の成長に繋がっていると感じる。 ・出勤時に教育目標を声に出す様になってから、『幼稚園教育で目指している事（特に、思いやりのある子どもの育成に関して）』を改めて認識する事が出来たと感じている。 ・教育目標は、毎朝、職員室で唱える様、意識していたが、出勤時に忘れてしまふときがあった。 ・ホール・職員室に掲示されているものを意識し、日々の行動を取り組みました。
2	年間の教育計画に従い、実践・反省・新たな計画に繋がれたか。	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画、月案を意識しながら日々の保育に取り組む様にした。又、おともだちの様子や進度を踏まえ、内容を臨機応変に変更する事もあったが、内容を詰めすぎてしまい、活動が中途半端になってしまう事もあった。 ・年間の指導計画を基に月案を作成し、月ごとに行うべき事を明確にした。学年会にて進行状況を確認し、やり残しが無いよう努めた。 ・月案を頂いたら、その月の活動の取り組みや、ねらい等を読み、お友だちの成長に繋がる様取り組んだ。 ・年間計画を立ててはいたが、行事等で計画が遅れてしまうこともあった。余裕を持って計画的に取り組みたい。 ・学年の先生方と一緒に教育計画を立てて実践を試みてきた。しかし、私自身の技術不足で、保育に遅れが生じてしまったり、十分に行えなかったりした事があった。計画に見通しを持ちながら取り組んでいきたい。

			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、学年主任として関わる事になり、同じ学年の先生と一緒に取り組んできた。 ・担任たちの思いを尊重するように心掛けたが、時折、担任たちから焦りを感じる事があったので、その都度、話し合い、どうしていききたいかを確認し、次の取り組みへ繋げるようにした。 ・教育計画に従い、実践する。日々の保育を進めていく中で、子どもや学年の様子等を踏まえて、内容を変えて行った。 ・園バスルート作成、園バス運行、園内営繕、動物飼育等について、年間の計画に従い行動しました。
3	園児及び保護者との信頼を深め、園児の指導・課題克服に取り組めたか。	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの課題を確認、相談しながら園児の指導にあたった。声を掛けた家庭は、移行支援・就学相談に申し込まれ年中から伝え続けてきた結果が現れた。 ・自身の力不足で、おともだちの気持ちをうまく汲み取れず、保護者に不信感を抱かせてしまった事が大きな反省である。 ・園児、保護者の声に耳を傾け、寄り添える様、心掛けた。 ・保護者の方との面談や、日々の引き渡し時の情報共有等で、家庭と園の様子をお互いに知る事が出来た様に感じる。『頻度をもう少し上げていく事が出来た。』とも感じたので、精進していきたい。 ・学年主任として、学年の園児、保護者へ寄り添えるように心掛けた。 ・それぞれの家庭の「課題」に対して、一緒に考えていけるように、沢山、話しをした。 ・多くの園児から「幼稚園大好き。」、「幼稚園楽しい。」、「先生、大好き。」の言葉がそのものだと感じている。 ・園児に対して、保護者に対しても耳の痛い事もその都度、伝える様に心掛けた。こちらが真剣に向き合っているという姿を見せる事で、園児、保護者にも理解して頂く事が出来たと思う。 ・担当学年だけでなく、可能な限り他学年の園児とも関わりを持つ様に心掛け、園児の良いところを見つけた時には、担任には勿論、保護者に伝える様に心掛けた。 ・一人ひとりのお友だちへの声の掛け方を変えたり、やる気を引き出せる様に声を掛けた。最初は『出来た』の実体験を味合わせ、その後少しずつ、自分で出来る様にし、出来たときは沢山褒め、『嬉しい』を感じて貰うようにした。保護者の方とも、園の様子を伝え、どのように声を掛けるか、どのようにして欲しいか、一緒に相談しながら進める事が出来た。

			<p>おかわり給食も足りずに追加でもらったり、食べ残しも減った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の消毒や掃除を含め、日頃の整理整頓を心掛けました。 ・園児への手洗い、うがい、手指の消毒の声掛けを心掛け、習慣化され、園児自ら行える様になっている。 ・園内営繕、園庭水道場所・砂の排水清掃等、実施しました。
5	安全・安心の園内を めざし、環境整備が 出来ていたか。	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度の安全点検を行い、園内・園外ともに異常がないかを定期的に確認・報告を行った。 ・教室にも怪我に繋がるものがないかをチェックしながら環境整備を行った。 ・園児自身が行った。園内設備を綺麗に保てるよう伝えるだけでなく、表示等を作り見本を示した。 ・教室の中で、も危険がないよう、園児が通りやすい様に導線を考えて机や椅子を並べた。 ・教室内で出たり来たりする物に物を置かない様にしたり、廊下からホールにて物が落ちない様にマットを設置したり等、安全意識を持って取り組んできた。 ・感染症防止の取り組みとして、細かな『消毒』を心掛けた。 ・公共部分の清掃などは、作業員の方が行って下さる。それを行っていかなくはならないところもある。 ・自分でも出来る事は行おうと心掛けた。 ・子どもが安全に遊べるスペースの確保、クラスの環境整備が十分にならぬようにすること、又、万が一怪我をした場合はどう対処するか、状況を見て、その都度対応する等意識して行う。 ・天竺の整備等、園児が安全に行動ができるよう心掛け手入れも行った。
6	園内事故防止の対策 や交通安全への指導 ・対策に取り組み、 成果が見られたか。	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施、散歩を通して交通ルールやマナーを学べる様に育行った。 ・ケガに繋がない様、環境設定や、おともだちに対しても、具体的には危険行為について話をし、防止に努めた。 ・降園時は、道路の角に立ち、安全に降園出来るよう、声を掛けたり、また、道路を広がって歩く家庭もあったが、端を歩くよう伝えたりした。 ・園外への散歩や遠足活動を経て、道路を歩く時のマナーについて意識がよりついたと感じた。更に、一緒に歩くおともだちへの配慮についてもお互いに声を掛ける姿も見られた。

			<ul style="list-style-type: none"> ・園児の怪我に繋がらない様に、物の置き方や教室の環境設定に気を配った。 ・マイナスの言葉で伝えるのではなく、一人ひとりが意識出来るように「〇〇には気を付けよう。」という言葉で伝えるよう、心掛けた。 ・散歩に出掛け、実践での「交通安全指導」の機会も持つことが出来た。 ・園バス内の取り残し事故防止チェックの徹底、交差点一時停止の遵守、バス乗降での声掛けを行い交通安全に努め、事故防止、園児のケガ無く運行できました。
7	<p>緊急時の災害（火災・地震・不審者侵入）を想定した訓練や日頃の対策に努め、緊急災害に十分備えられていたか。</p>	5 4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の避難訓練や、避難経路の確認を行った。又、自由時間で、色々な場所で活動している時に、あえて避難訓練を行い、どんな状況でも避難が出来る様な取り組みを行った。 ・4月には、職員で不審者対策の講習を行った。 ・サバイバル体験を通して、緊急時の想定や、水や電気が止まって時にはどうするか？をおともだちと考え、実践を行った。 ・年度初めや避難訓練前後では、防災頭巾の被り方や避難の仕方の指導があったが、継続的に行えていなかったと感じる。 ・緊急の際、職員室側の緊急ボタンが押せるように（緊急ボタンの前に物を置いては行けない）と消防署から指導を頂いたので、なるべく開けるよう整理整頓に努めたが、すぐにものが増えたりしまい、維持が難しくなった。 ・非常扉の前に物を置かないように、置いてあった場合片付けするようにした。 ・園全体の訓練は十分に行われていたが、週1回のクラスだと参加出来ない事が多いので、クラスでも個別に防災頭巾を被る訓練などを行えば良かったと感じた。 ・避難訓練の取り組みを通して、避難経路の確認や災害時の対処方法等、より意識を持って取り組みを重ねる事が出来たと感じた。 ・園児自身も意識出来るように常に声掛けをしていた（例えば、クラスを担当している際、自身がトイレ等で教室を離れる時には、もし、地震がきたらどうする？等、確認してから教室を離れるようにしている） ・今年度は、全国的に頻りに地震、大雨被害が多くあったので、その都度、状況を話し、どうしていけばよいのかを話し合うように心掛けた。 ・3/11には、『東日本大震災』があった事を伝える。年齢的にまだ理解出来ないかもしれないが、少しでも意識出来ればと思う。

13 園情報を地域の方に
伝え、本園の広報や
理解を得られたか。

5 4 ③ 2 1

- ・ LINE の運営を行い、園庭開放、未就園児親子教室、説明会等、周知が出来る様にした。行われる前日もしくは2日前には、必ず通知出来る様にした。また、担当同士でアイデアを出し合い、未就園児家庭に子育て支援出来るように努めた。在園児の様子を動画や写真等に撮影し、LINEで在園児の成長や良いところ(自慢)も出来るのもっと良かったのではないかと思う。
- ・ LINEでの発信を始められた事は、大きな事だと思う。LINE担当の先生に負担がいつてしまっている事は申し訳ない。
- ・ 勤務の帰り、もしくは出勤前にポスティングを行い、周知が出来る様に心掛けた。
- ・ CMの作成を担当で行い、現在、審査中。
- ・ 駐輪場や南門にある掲示版に期間外の掲示がないよう努めた。また、「星が丘幼稚園の良いところ」をアンケートし、集計結果を掲示した。
- ・ ただ、掲示するだけではなく、見やすく掲示するなど、より、観て頂けるよう工夫していきたい。
- ・ ホームページ担当としては、保護者協力で同意書を頂き、顔出しが可能となり、園での様子が以前より伝えやすく、なった。4名の担当で分担しながら、様子を伝えるブログを継続してきたが、ホームページ以外での広報には、十分に力を注ぐことが出来ませんでした。
- ・ お散歩に出掛けた際や、幼稚園の近くですれ違った方には元気良くご挨拶をする事を園児と一緒に心掛けた。より地域に愛される幼稚園を目指したい。
- ・ 自分発信で、広報活動を進める事は出来なかった。
- ・ 前半はポスティングの協力をして頂いていたが、後半は、なかなか機会を設ける事が出来なかった。
- ・ 近隣スーパーにポスター掲示をお願いし、OKを頂けたところがあった。今後も掲示をお願いできる場所を探していきたい(園庭開放で初来園の方が「ポスターを見て」という方が多いとのこと)。しかし、なかなか園児募集に繋がっていないのが現状。
- ・ チーム別に取り組む際、自分からは発信できていない。同じ担当者から相談を受け、アイデアを出したり、作成したりするといった動きになってしまっている。自分発信で動けるようにしていきたい。
- ・ 幼稚園の近くを通ったお友だちに「あそびにきてね。」と声を掛けたり、遊びに来て下さった方には子どもだけでなく、保護者の方とも話すように心がけた。

		<ul style="list-style-type: none">・園のホームページの担当として、その月に行われる、行事、イベント、説明会等についてのお知らせ等を載せれるように努める。・以前、自身の子どもが所属していた子育てサークルに園庭開放やベビーマッサージのちらしを配布した。・園バスに園児募集や説明会のポスターを掲示し、都度更新しました。
--	--	---